

令和元年8月30日

自由民主党 紋  
代表 古嶋 津義 様

八代市議会自由民主党 紋

管外行政視察復命書

○ 視察期日 令和元年8月21日(水)～23日(金)

○ 視察先 : Jファーム(苫小牧市)  
苫東ファーム(苫小牧市)  
アド・ワン・ファーム(豊浦町)  
中心市街地活性化事業(函館市)

○ 参加者 議員 古嶋 津義   
議員 上村 哲三   
議員 百田 隆   
議員 金子 昌平 

●8月21日（水）pm14：30 北海道苫小牧市：(株) Jファームについて



●8月21日（水）pm16：00 北海道苫小牧市：(株) 苫東ファームについて



●8月22日（木） am9：30 北海道豊浦町：アド・ワン・ファームについて



●8月23日（金）am10：00 北海道苫函館市：中心市街地活性化事業について



詳細は各議員視察所見にて

自由民主党 碇・絆・和 視察所見

議員名【古嶋津美】

◆視 察 日：令和元年8月21日（水）

◆視 察 先：北海道苫小牧市

◆調査項目：（株）Jファームについて

アド・ワン：ファム50%、JFEエンジニアリング49%出資して2013年  
スマートアグリ生産プラントとして、Jファムを設立。苫小牧工場  
はやが造成した苫東工業団地内にあり、敷地面積62,  
784m<sup>2</sup>。施設はオ1、オ2、オ3工場、オ1、オ2エネルギー棟、出  
荷管理棟、バイオマスボイド棟、PRセンター等で構成されている。  
オ1工場では水耕栽培でベビーリーフ（葉物野菜）栽培。  
オ2工場ではトマトを固形培地養液栽培。（1本の木を伸  
ばし続ける（10ヶ月）、ハイウイヤー栽培。長さが10~15mまで伸びる  
ため、横にすらしながら作業車で調整）。オ3工場ではトマト他  
多品種が栽培されている。水耕、固形培地栽培のため、  
生育状況に応じ最適な養分を自動配合し供給。ハウス  
は全てオランダ型高度栽培制御システムを採用し、日射、風向  
などの天候データや温室内の温度湿度など数多くのデータを取り

議員名【古山島津義】

込み、植物の生育に最適な条件となるよう制御し、コントロールマネージメントで管理。出荷・管理棟では、収穫したリーフ類を包装して出荷。野菜の鮮度を落とさないため、部屋全体が冷蔵庫化している。又、金属探知機を導入し、製品の安全に万全を期している。又、小物では多品種作物の栽培技術に力を入れ、天然ガス、バイオガス、温泉熱などの多様なエネルギー利用が可能であり、JFEエンジニアリングのエネルギー利用技術が役立っている。課題としては、工業団地内であり、又、土を使用しない水耕栽培等であるため、農水省の補助金等が厳しいことがあげられる。

自由民主党 磡・絆・和 視察所見

議員名【古嶋津義】

◆視察日：令和元年8月21日（水）

◆視察先：北海道苫小牧市

◆調査項目：苫東ファーム（株）について

農水省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」により、苫小牧東部工業団地内に栽培面積4haに及ぶ国内最大規模のいちじ栽培施設を民間企業6社が共済（富士電機KK、清水建設KK両社で97%出資）して平成26年3月に苫東ファームを設立。施設は4haの太陽光利用型高設栽培温室で日量七千荷、全て道内のケーキ店用いちじ（糖度を上げない、ヨーロッパ風好み）として消費。ハウス内には遮光カーテン、保温カーテンなど高度な技術力に環境制御された生産施設である。加温は地場木棧利用による木質チップボイラ棟（補助条件）、併せて、ヒートポンプ、ガスヒーターも設置されている。温室内には養液栽培施設が設置され、管理事務所内の環境制御コンピューターで高度な栽培環境が作りだされている。

又、集出荷施設では選果場で選果されたいちごの品質保持のため冷蔵設備で保管され、翌日(朝)取扱。

寒冷地に起業したのは、夏季の冷涼な気候を活かしたいちごづくりにより、新しい地域の産業が創出でき、地域資源(木質チップ、天然ガス等)によるエネルギー利用など、地域環境と調和農業ビジネスが実現できる。尚農水省の支援事業により、毎年で安定した栽培ができる高度施設園芸(異業種間の連携協働により)、工業技術省工芸技術・ICT技術等)商品開発した機器・システムビジネスモデルを国内外へ拡大できるのも要因の一つである。

課題としては、冬期の暖房費や高騰や開花後ににおけるミツバチの受粉。そのミツバチが北海道では、越冬ではなく毎年購入しなければならないミツバチの購入費が課題としてあげられる。

自由民主党 碇・絆・和 視察所見

議員名 [ 古島津義 ]

◆視 察 日：令和元年8月22日（木）

◆視 察 先：北海道豊浦町

◆調査項目：（株）アド・ワン・ファームについて

アド・ワン・ファーム 豊浦農場は、フットフイルムで覆われたハウス内で、養液を完全に管理されたトマトやいちごの土耕栽培と、コンピュータ制御された葉もの野菜が生産されている。太陽光利用型ハウスでは主にベビーリーフを栽培、栽培方法は育苗箱に土を使わない水耕栽培で、養液を再利用する環境に優しく効率的な栽培方法で、コンピュータやオーバル機器で日射や温度をコントロールし、季節に応じた肥料管理がされている。収穫作業はバリカン式芽刈り機や収穫後の品質保持のため専用の選果機械を用意し、作業時間の短縮につながっている。又、栽培ベッドの開発により、栽培密度が30%以上アップし、密植による障害を克服し収穫量と品質向上している。又、選果、計量、包装、出荷も機械化で、作業

議員名【古島津義久】

量を減らし均等な商品が出来、計画生産や販売  
戦略が立てやすいこと。

未来農業のカタチとしては、今後、高度栽培環境制御システム  
や先進技術の活用により、ハウス内の環境をユビュータ制御  
で、野菜の生育に最適な栽培環境や省力化、高品質生産が  
創り出される栽培方法に向かうのではと、感じた。

起業した理由としては、新千歳空港に近く、地域内を  
高規格道路など交通アクセスが便利である。又、豊かな自然  
が残された、樹林地、湖沼等を有し、自然と共に生きてると  
が受けられる。課題としては、農場の周囲が山であり  
ハウス内に害獣の侵入の危険性があり、農作物の  
被害が想定される。捕獲用罠もあまり効果は少ないと  
のこと。対策が課題である。

自由民主党 磡・絆・和 視察所見

議員名【古嶋津義】

◆視察日：令和元年8月23日（金）

◆視察先：北海道函館市

◆調査項目：中心市街地活性化事業（はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ）について

中心市街地の居住人口の減少や、大型商業施設の郊外立地に伴い、中心市街地の求心力が低下し、店舗数や売り上げが減少するなどの空洞化が進み、中心的商店街である函館駅前や大門地区などの賑わいが失われている状況であり、早急に魅力あるまちづくりを進めて行く必要があることから、新たな中心市街地活性化基本計画が策定され、計画によって中心市街地の活性化を推進するさまざまな施策が展開されている。その事業の中では、「はこだてみらい館」「はこだてキッズプラザ」ではイベント等の積極的開催の支援又、子どもから高齢者までが楽しめる施設として事業に取り組まれている。両施設とも函館駅前のキラリス函館の3階と4階にある。「はこだてみらい館」では、総面積2,4m 横14.4mの巨大な高精細LEDディスプレイや

モノづくりができるラボなどを備え、「オドロクカラ」をテーマに様々な体験ができるほか、数多くのワークショップを展開している。4階の「はこだてキッズプラザ」では、小学生までが楽しめる大型のネット遊具などがある  
プレイグラウンドや2歳未満児用のベビーパーク、授乳室、おむつ替え室、子育て相談室、託児室などが備えている。両施設ともJR函館駅から徒歩3分といふ利便性に加え、函館らしさが満載されたメニューと、雨の日でもおもいきり遊べ、利用者は増加化傾向にあり賑わいの創出に繋がっている。課題としては、遊びや体験を通じて学ぶ社会教育的施設ではあるが、を中心街地の賑わい創出が設置目的であり、市民や観光客<sup>特に</sup>台湾からの客数増があり、駅前地区ではホテルの建設ラッシュ（客室1,800室増）に伴い、商店街と連携し賑わいの創出に繋げる仕掛け、工夫が必要と認識させていた。

# 自由民主党 環・絆・和 視察所見

議員名【上林芳三】

◆視察日：令和元年8月21日（水）

◆視察先：北海道苫小牧市

◆調査項目：（株）Jファームについて

〔概要〕 農業生産法人（株）アド・ワン・ファームとTFF

エンジニアリングの出資によるスマートアグリ生産プラ

ント<sup>2</sup>、TFFの技術と馬区使してユニット<sup>2</sup>-

集中管理（通年）<sup>2</sup>、ベビーリーフ、トマトの水耕

栽培である。

設備費は1ha:5億円（内1/2は国補助金）

立地条件は、夏季冷涼、交通アクセス、インフラ

整備が良好、平野部<sup>2</sup>地下に天然ガス

ラインが敷設され、ガスエンジン<sup>2</sup>を用いて

利用する好条件である。

〔課題〕

通年の生産量が少なくて、特に冬旺季の

自然環境へのコスト増がある。

又、経営との接觸は、難しい、生産量と、

設備投資額、維持管理のバランスが悪い。

しかし、地図的条件と技術力は、確か。

将来性は望みを部分もある。

道外への取引課題もある。

本市の同様の生産品目と比較しても、

導入に当つては、初期費用(設備投資額)

第一要注意である。

# 自由民主党 環・絆・和 視察所見

議員名 [ 上林芳二 ]

◆視察日：令和元年8月21日（水）

◆視察先：北海道苫小牧市

◆調査項目：苫東ファーム（株）について

## [概要]

灌水建設、富士電機各々が48%。合計96%

を稼働し、国内最大の、太陽光利用型  
高設栽培温室 H.27 完全人工型育苗施設

を設置、千トロポリマー施設、集水荷施設。複  
数棟も備えて養液栽培設備で、1千ト

（主にトマト）を生産している。

総面積は6ha、1千トの品質は、園芸トマト、

糖度15度以上なし、工業的栽培であります。

立地条件としては、夏期生産に向いています（この

時期は、河岸耕作地外園芸地）

## [今後の課題]

自然条件、温度管理、日照、降雨、等あります。

[附見]

本市の件は、生産と本、その初期主義が異  
るより、企業的計算の上成川立つ物で  
根本的に異つてゐる。

地盤等様々に、その地区のみ立地とする型  
もあらず様に思つた。

# 自由民主党 環・絆・和 視察所見

議員名【 五味哲三 】

◆視察日：令和元年8月22日（木）

◆視察先：北海道豊浦町

◆調査項目：（株）アド・ワン・ファームについて

## 〔概要〕

H.15年、元来「豊浦いちご」と通称栽培しようと  
いう目的で、面積 82,755m<sup>2</sup>、育苗床  
22,176m<sup>2</sup>で、総事業費、550,861千円で  
建設された大型施設であるが、降雪地帯の  
為、冬場の栽培が困難な点を考慮して、  
町から借り受け、リーフ栽培を主に、高棚床  
トスト、一部いちご栽培も行なういる。

## 〔特徴〕

生産量20t、ベビーリーフは水耕栽培で、環境  
制御により生産いちごなく、安売り苺が  
販路日本は少ない。  
又、出荷先も確定せず多くある。

~~採算性~~ 1フリードムアートのまかたは確かでない。

〔建設〕

前施設と同様に借り受け施設の為初期投資額は、大手くないが、今後の運営経費、事業採算性が課題である。

〔引受け〕

今回の3事業所の研修は、ハブ内に(2)も北海道内という事で、本府農業(い)連続など比較、検討は莫迦しいものがあると思う。

自由民主党 碇・絆・和 視察所見

議員名 [ 有田隆 ]

◆視察日：令和元年8月21日（水）

◆視察先：北海道苫小牧市

◆調査項目：(株) Jファームについて

(株) JFA-4 (はい) 海苔の寒冷地で 1-2トントを栽培し、

11-12ヶ月で850kg/m<sup>2</sup>を達成し、これは勿論のこと、約1割まで

海苔輸出で12ヶ月の間に、共同出資組合より JFEエンジニア

リングの技術を採用し、生産系統と化水耕栽培システムを

アリタ 2032トント、5.5m<sup>2</sup>を、又2トントを栽培するため

と12ヶ月で850kg/m<sup>2</sup>を達成する。

温室内... 5.5m<sup>2</sup>で全期間人手不要で肥料なし成長。

環境制御装置... Private Connect.

栽培方法 -- 1-2トント 圆形培地養液栽培 (高木 1441253  
養液栽培)

1-2トント NFT 培養液栽培

ガスエンジン -- JFE - Waukesha 機 230kW(熱) / 140kg/h(CO<sub>2</sub>)

ガスエンジン -- 300kW(熱) 150kg/h(CO<sub>2</sub>)

温室内... 263kW(熱) 等を組み入れる。

又、203年利用開始の予定(建設12月)

充含炭酸ガス化(CO<sub>2</sub>、温床養分)

太陽熱型高廈栽培技術システム(日射、風向、温度湿度制御)

養液供給装置+園形培地動塔(生育状態)

1.イワシヤ-動塔+培养車(高さ10m~15mのビル等で稼働)  
→室の高さにより必要な培养車で調整)

蓄養室及び育苗ベッド(蓄養室、育苗ベッドを直結)

リーフ栽培ベッド(水耕栽培とベビーリーフを栽培し競争)  
ベッドによる作業効率化、作業スペースの最小化)

別室(コ2リサイクル)12.温室内の環境をモニタリング・管理する

玄関管理棟は部屋分けで冷蔵庫、金属探知機を導入し安全の

安全・安心を図る(2月)

このように寒冷地に行けるために春咲化粧を通して(2.(抹茶))第一回12

このスス-トマト栽培実験

自由民主党 磯・糸・和 視察所見

議員名 [ 田中達 ]

◆視察日：令和元年8月21日（水）

◆視察先：北海道苫小牧市

◆調査項目：苫東ファーム（株）について

苫小牧市の苫東工業団地内にあり、出資者は高工電機（株）

清水建設（株）、ウニキ電機（株）（株）北海銀行、苫小牧信

開公庫、養中建設（株）の共同企業体である又、苫東アーム（株）は

農林水産省「次世代施設園芸導入加速化支援事業」を

受けた大規模な「栽培施設でみなし流通体制」と

構築していくと想われる

施設の概要を聞か。

栽培面積 4ha（国内最大級）

北海道内会員 20億円

耐用年数 15年～20年

小耕栽培。一台は九耕の水耕ばら。

(1) 地陽光利用型高効率温室（H27年度建設設置）

(2) 6.7℃水行・施設（地陽・未採用）

ヒートポンプ・カスピータ・設置。

(3). 集出荷運送改、(選手場、冷藏設備等)

(4) 増強車庫 (搬送制御)

(5) 表示器充電池改 (搬送制御工化と飛行機器等  
飛制御) 等取引。

技術開発工事、ICT技術活用による施設園芸工事を

施用する、植物育成装置などを開発する。

北海道の地理的条件から実績上は強化栽培方式。

段落11と12。遂に正確な位置が洲への輸送は

複数海線を通じてから実現しとあります。今後の

課題と課題。

自由民主党 碇・絆・和 視察所見

議員名 [ 有田 隆 ]

◆視察日：令和元年8月22日（木）

◆視察先：北海道豊浦町

◆調査項目：（株）アド・ワン・ファームについて

（株）アド・ワン・ファームはそもそも豊浦町の生産園地と連続

してます。この拠点（豊浦町の生産園地）は事業主体と3ヶ月

の賃貸契約地で、平成18年5月着工、11月竣工、12月开始

あります。北海道といふ寒冷地での栽培は冬場の防寒

生産管理が難しく、これまで5年ほど、開拓、排水施設を整備

してきました（株）アド・ワン・ファームは2011年4月に園地本社

新築移転しました。

（株）アド・ワン・ファームは、採れたての野菜を鮮度を保つ配送方法

で販売を行なっており、野菜の品質を守るために、技術の管理

システムと導入し、エコロジー制御による低温野菜、管理

低温玄蕃栽培等を構築し、安心・安全を追求しています。

畠地は水耕栽培、水温15°C、室内18°C（七十五度～二十度用）

栽培はアバリ制御盤で管理。

彦道は24m~30m

收穫量...本季生かし夏端は50kg、冬端は90kgとか

又、秋山は20~30kg、<sup>1150</sup>冬端は50kg。

三毛子は豊浦町15、ウニの栽培が漁港で20kg、寒波地で

約20kgの栽培が豊山で、10kgの栽培は3,7ト(2t)

既存の活用は、自然山石加工工場が豊浦町は寒波地では

難しく、既存のもので、IP化するのではなく、努力立地で

彦道240~300kg

自由民主党 碇・絆・和 視察所見

議員名【 有田 雄 】

◆視察日：令和元年8月23日（金）

◆視察先：北海道函館市

◆調査項目：中心市街地活性化事業（はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ）について

函館市に於ける多様な会社、人口減少の問題を抱え、平成12年

から平成27年の国勢調査の結果、85281人の人口減少を示し

ている。特に、中心市街地は人口減少と並んで大型店舗の

立退化や空洞化が進み衰退が深刻化されている。この

ことは、車社会といわれる現代である。今後も過給都市では、

中心市街地活性化による基盤整備と併せて、市民

生活や歴史、文化、歴史との融合による活性化の高いまちづくりを

目指し、公共交通の利便性と商業機能、公共公益機能

が連携して改修整備を推進し、若者や高齢者まで楽しめる

集客施設と、2.はこだてみらい館はこだてキッズプラザ

を立ち上げ、市街への人口流入目標を達成するまでの計

画である。この計画について、平成25年4月の支援事業認定を中心

市街地活性化基本計画の経営大臣の認定を受けた。

26 2013

福島県ではまだキーストロングは建設業者等の管理者  
制度を導入し、アドボガル方式を採用しておらず

5年間でみる

又、既往の申立てと競争審査における結果の公表

入院料の算定方法と診療料との割合、支拂いの算出  
方法についてのことを述べる。

東京府民は、本市は地場紙は既存の施設の

課題と現状が認識されていないと言ふ。

2点目は、既往の申立てと競争審査の人口減少が進む中

標準化難い、複数の申立てがある。

会派　自由民主党　糸　行政視察所見

議員名　【　金子　昌平　】

◆視 察 日：令和元年8月21日（水）

◆視 察 先：北海道苫小牧市

◆調査項目：(株) Jファームについて

(株) Jファームは、2013年、アド・ワン・ファーム(50%)とJFEエンジニアリング(49%)の共同出資により、苫小牧に敷地面積62,784m<sup>2</sup>、施設面積28,592m<sup>2</sup>の大規模スマートアグリプラントとして設立。最先端テクノロジーにより、栽培技術の実証を積み重ね、高濃度トマトおよびベビーリーフの生産に成功、3年後には、同規模の札幌工場を増設。現在は、栽培が困難といわれるロシアやベトナムなど世界に進出して成功している。

苫小牧工場(第1ベビーリーフ栽培棟、第2トマト栽培棟、第3トマト・多品種栽培棟)の特色は、植物に必要な光合成「光、CO<sub>2</sub>、温度、養分」の4要素を最大化するため、「オランダ型高度栽培制御システム」を導入。日射・風向きなどの天候データや温室内の温度・湿度など数多くのデータを取り込み、栽培棟全ての最適な室内環境を敷地内にあるコントロールルームで遠隔管理している。

栽培方法の特色は、トマト栽培「溶液供給装置+固形培地栽培」では、生産状況に合わせた最適な養液を自動配合し個々に供給、土を使わず養液を再利用する為、環境に優しく効率的な水耕栽培である。収穫は、「ハイワイヤー栽培+作業車」を活用して行なっており、一本の木を伸ばし続け10カ月に渡り収穫する。最終的な長さが10~

15m ぐらいまで伸びる為、横にずらしながら一定の高さとなるよう作業車で調整。作業員の身体に負担が少ないので大きなメリットでもある。ベビーリーフの方は、人工光型の発芽室にて発芽させる。

その後、「育苗ベッド」で成長させ「栽培ベッド」に定植。水耕栽培のメリットを活かし、栽培ベッドを移動式にしたことで、作業スペースを縮小化に成功、栽培面積の最大化を実現している。

出荷・管理等では、野菜の鮮度を保つ為、包装する部屋全体が冷蔵されており、良質のまま出荷が可能である。さらに、金属探知機を通して製品の安全を徹底している。

他にも、天然ガス・バイオマス・温泉熱など、地場資源を活かしたエネルギー利用技術にも注力。多様なエネルギーを利用している。

本市においても、人手不足・担い手不足などの問題・課題と向き合うには、最先端技術の知識は必要であるが、工業農業の設備投資には、膨大な資金を要する為、個人経営での次世代農業の導入は、ハードルが高い、多角面から国との連携を強化する必要がある。

「コントロールルーム」



「エネルギーフロー」



会派　自由民主党　辯　行政視察所見

議員名　【　金子　昌平　】

- ◆視 察 日：令和元年8月21日（水）
- ◆視 察 先：北海道苫小牧市
- ◆調査項目：(株) 苫東ファームについて

苫東ファーム（株）は、平成26年度から農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」を活用した、栽培面積4haに及ぶ国内最大規模のいちご栽培施設であり、北海道次世代施設園芸コンソーシアム構成員（共同体）が主体となって事業を展開している。設立には、農業事業者以外の民間企業6者（富士電機株式会社・清水建設株式会社・ウシオ電機株式会社、株式会社北洋銀行・苫小牧信用金庫・菱中建設株式会社）の大手企業が出資し、工業技術・省エネ技術・ICT技術などを活かした施設園芸を確立している。

いちご生産施設は、平成26年から28年の3カ年で施設整備が進められ、1年目は2haの「太陽光利用型高設栽培温室」と「チップボイラー施設」、「集出荷施設・管理棟」、「養液栽培設備」の主要施設を建設。28連棟の栽培温室でイチゴの通年栽培がスタートする。2年目は「完全人工光型育苗施設」を設置、3年目にはさらに2haを増設し、国内最大規模で量産体制を整えている。

苫東ファームで栽培するイチゴは、生食用ではなく、業務用のイチゴである。主にケーキのデコレーション用に製菓店やお菓子の原材料として食品会社などに販売している。業務用は通年で需要が見込めるため、安定供給がビジネスの大きなポイントであった。

課題は、冬場の燃料費や積雪の問題が挙げられる。燃料費を抑えるため、熱源として「ヒートポンプ」と「ガスヒーター」のほか、地場エネルギー資源を有効活用するため「木質チップボイラー」の3つの設備を擁し、状況に応じての利用が可能である。主に「ヒートポンプ」と「木質チップボイラー」は、「桶」の積雪を融かすエネルギーと栽培ベンチを温める役割。「ガスヒーター」は温風でイチゴの周辺を温めるために利用。4haの温室全体を暖めるのではなく、イチゴが植えられている栽培ベンチ周辺のみを温める「局所暖房」を導入している。さらに、保温用カーテンなどを活用して、燃料費を大幅に抑える設計であった。

週出荷施設・管理棟では、収穫後すぐに移動式の冷蔵庫に格納している。選果場も室温を17度に保っており、一度冷えたイチゴは温まることなく保管庫へと運ばれ、出荷されている。顧客のニーズに的確に対応する為、収穫後は日射に当てず劣化を防ぐことや低温管理を徹底する動線を考察した施設であった。

今後の課題は、同じ量を毎日出荷できる安定生産。直近未来の未曾有な異常気象に備え、栽培環境を最適化する取り組みの継続。冬場の日射量不足を補うために、増設した温室には補助光としてイチゴの生育に適した波長のLED光を導入するなど、生産性の向上に向けた設備面の強化であった。

会派　自由民主党　紺　行政視察所見

議員名　【　金子　昌平　】

- ◆視 察 日：令和元年8月22日（木）
- ◆視 察 先：北海道豊浦町
- ◆調査項目：アド・ワン・ファームについて

(株) アド・ワン・ファームは、ビニールハウスなどの園芸施設の設計・施工を手掛ける(株) ホッコウの農業事業分野として設立。札幌市東区丘珠と豊浦町桜に合わせて約10,000坪の太陽光利用型のハウスを保有している。フッ素フィルムで覆われたハウス内で育まれる野菜は、養液を完全に管理された土壤栽培と、コンピューター制御された水耕栽培で生産されている。

農業の自動化に取り組んだ背景は、農業や施設園芸の先進国であるオランダで進められている自動化、高効率化が注目を集め、日本でも認識されるようになったのが決起。当社では、採算性を上げ、大規模な農業生産を安定的に進める必要があり、起業時の少人数を踏まえ「どうすれば少人数で生産効率を上げられるか」を常に考察。ハウスでは、野菜の種類にもよるが年間12作～24作の通年生産・出荷をする。膨大な労力をカバーするためには、作業の自動化は必須であった。現在では、取り組みが進み、新しい設備ではタッチパネルを導入し、パソコンでの遠隔操作も可能となっている。

本市においても、I C T機器の操作でハウス内の環境など管理ができるようになれば、「若者の農業参入」や「担い手不足の解消」が狙えると思う。

会派　自由民主党　辯　行政視察所見

議員名　【　金子　昌平　】

◆視 察 日：令和元年8月23日（金）

◆視 察 先：北海道函館市

◆調査項目：中心市街地活性化事業について「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ」

函館市では、旧中心市街地活性化法に基づき、平成11年5月に函館駅前等の約4.8haの区域を対象に「函館市中心市街地活性化基本計画（旧計画）」を策定。中心市街地活性化に向けた各種施策を展開してきたが景気の低迷、都市機能の拡散、大規模集客施設の郊外立地、さらに少子高齢化社会に伴う人口減少等により、函館市全体の衰退が進行。この状況を踏まえ、平成27年の新幹線新函館開業を決起と捉え、中心市街地活性化協議会や市民の意見を重視し、新たな中心市街地活性化基本計画を策定する。基本コンセプトに、「市民生活と歴史・文化・観光が融合した回遊性の高いまちづくり」を掲げ、一つの基本方針にある「賑わいのある集客施設の創出」として、平成28年10月に指定管理者選定を踏まえ、「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ」が設立されることとなった。初年度は「利用者数」19,687人。「使用料収入」7,164,580円。翌年は、「利用者数」は、42,990人。「使用料収入」15,678,330円で約2倍の収益を上げており、中心市街地活性化の起爆剤となっている。

・「はこだてみらい館」の特色は、ICT機器など最先端技術を活用した、科学を身近に感じるコンテンツで遊びながら「オドロクチカラ」を育む施設である。驚くのは、「メディアウォール」で、縦2.4m

横 14.4m の巨大高精細 LED ディスプレイ(国内最大級)が設置されている。本物を忠実に再現されている「イカの群れ」は、水中を泳ぐイカの群れを自由に操る事ができ、親子でコミュニケーションをとりながら楽しめる内容である。

#### 「はこだてみらい館」



・「はこだてキッズプラダ」の特色は、天候・季節に左右されない、全天候型の室内公園として、「子どもの創造力」、「発想の自由」など様々な遊びやルールを自発的に考えることができる施設。印象的なのは、天井から吊るされたネットの中で全身を使って自由に動き回ることができる「巨大ネット遊具」。他にも多種多様な遊び場を提供しており、この施設で学んだ体験から、他の場所でも創意工夫して楽しめる力を養っている。

#### 「はこだてキッズプラザ」



本市においても、このような「子育て世代間交流」が可能な施設は重要である。特に、夏休み期間や夏場の熱中症対策として、子どもたちが全身を使い安心して遊べる場の提供は必要である。

令和元年11月10日

自由民主党 紋

代表 増田 一喜 様

八代市議会自由民主党 紋

管外行政視察復命書

○ 視察期日 令和元年11月6日(水)～11月8日(金)

○ 視察先 : 台東デザイナーズビル(台東区)  
政府要望(国交省)  
第二日暮里小学校(荒川区)  
本所都民防災教育センター(墨田区)

○ 参加者 議員 増田 一喜



議員 古嶋 津義



議員 金子 昌平



11月6日（水）pm13:30 台東デザイナーズビレッジについて（台東区）



11月7日（木）am10:00 政府要望（国交省）



11月7日（水）pm14:00 プログラミング教育について（第二日暮里小学校）



11月8日（金）am9:00 本所都民防災教育センターについて（墨田区）



詳細は各議員の初見にて

↑  
PDF?

## 自由民主党 磯・絆・和 視察所見

委員名【 増田 一喜 】

- ◆ 視 察 日：令和元年11月6日（水）
- ◆ 視 察 先：東京都台東区
- ◆ 調 査 項 目：台東デザイナーズビレッジについて

台東区は、靴、鞄、アクセサリー等のファッショングoods関連産業が集積している地域である。地場産業の活力、競争力を高めるためには、企業の自主企画による高付加価値、差別化製品を生産することが求められていることから、デザイナーに創造の場を提供し、デザイン分野の人材と機能の集積を図り、創造的なモノを生み出す拠点とすることを目的とし、デザイナーの創業支援施設（インキュベーション施設）として台東デザイナーズビレッジが設置されたものである。

基本的な機能は、靴、バッグ、アクセサリー、アパレル等のファッショングoods関連産業の分野で事業を起こし、自立しようというデザイナー（個人や創業間もない法人）をハード・ソフトの両面から支援すること。

また、低額で利用できる事務所や無料で利用できる制作室、ショウルームなど、デザイナーの創作・制作活動に必要な場所を提供すること。

そして、インキュベーションマネージャー（村長）を核として、経営やマーケティング、営業、ネットワーク作りなど様々な支援ソフトを提供すること。

それから、地場産業の企業にとって商品開発等を行う上で有効な機能を提供し、村長のコーディネートにより、企業に対し適切なデザイナーを紹介して、商品企画、デザインの依頼を容易にし、また企業とデザイナーとの協働による商品開発を促進する機能を有していることである。

もう一つ特筆することは、この施設は新たに建設された建物ではなく、平成15年3月に閉校した旧小島小学校を改修したものである。工事費用は約1億8,000万円で、施設整備には、新事業支援施設整備費補助金（経済産業省、東京都）から補助金9,500万円を受けて完成させてことである。

平成16年4月1日に開校。これまでに93社が卒業し、うち43社が台東区内にショップや事務所を構え、ほぼ順調であることである。

区民の幸せのためには、財政的に少し厳しくとも職員の皆さんのが努力して補助金を確保されたことには敬意を表するところである。

本市においても、市民の幸せのためには行政一丸となって取り組み、頑張って頂くことを願っている。そのためには、我々も共に頑張らなければと決意を新たにしたところである。

## 自由民主党 磯・絆・和 視察所見

委員名【 増田 一喜 】

- ◆ 視 察 日：令和元年11月7日（木）
- ◆ 視 察 先：東京都荒川区
- ◆ 調 査 項 目：プログラミング教育について

21世紀の社会は知識基盤社会であり、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる場面での活動の基盤となっている。学校教育は、教育基本法や学校教育法が目指す、教育の内容の普遍的な部分を踏まえ、グローバル化や人工知能の飛躍的進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測困難な社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、夢や志を高く持って、未来を創り出していくために必要な資質・能力を幼稚教育の段階から、幼稚園・こども園・保育園・小学校・中学校が連携しながら、子ども一人ひとりを確実に育んでいくことが求められている。

平成2年に「情報教育に関する手引」が示され、荒川区教育委員会では、平成3年度からICT教育の充実に着手することにした。同年には、区内全小・中学校に教員研修用としてデスクトップ型PCを各校2台導入した。その後、コンピューター教室の整備、全普通教室に電子黒板導入やセンターサーバー型のネットワークを構築など、全国でも最先端な取組を推進。

そして、荒川区では、家庭の経済状況や家庭環境に関わらず、「すべての子どもたちに21世紀型能力を身に付けさせる」ことを目標として、全国に先駆けて、タブレットPCについて平成25年度にモデル校として、小学校3校、中学校1校に導入し、翌年度からは全34校において、タブレットPCの活用時一人1台体制を導入した。導入から3年が経過し、タブレットPCや電子黒板などICT機器が全ての教室に根付いたことで、様々な取組を実践することが出来るようになった。

我々が研修を受けた荒川区立第二日暮里小学校では、校内研究としてICT機器を使ってプログラミング教育を行っている中、東京都プログラミング教育推進校として指定を受け、レゴエデュケーション、(株)内田洋行と連携してさらなる研究を進めている。

3～6年生の総合的な学習の時間にLEGOロボット教材を活用し、実際にロボットを動かす活動を通して、よりよく問題を解決する考え方やプログラミング的思考を育成している。6年生になるとロボットの組立てはもちろんのことそのロボットについて、いかに便利であるか、いかに安全であるかなどのプレゼンテーションを行わせている。これらは全て児童が考えて行うことであった。ICT社会の未来に向けた素晴らしい教育ではないかと感銘した。

## 自由民主党 磯・絆・和 視察所見

委員名【 増田 一喜 】

- ◆ 視 察 日：令和元年11月8日（金）
- ◆ 視 察 先：本所都民防災教育センター
- ◆ 調 査 項 目：防災体験（消化・応急手当コース）

近年、世界各国において台風や大規模地震等が発生しており、大きな被害が出ている。日本でも、1995年1月に発生した阪神淡路大震災をはじめ、九州北部豪雨、東北地方を襲った大津波、そして、本市も被災した熊本地震、最近は、2018年北海道胆振東部地震等々、列挙に暇が無いほどである。

特に、本市には日奈久布田川断層があり、いつ動くか分からぬ状況である。このような状況の中、災害に対する普段の対応の訓練が大切である。

そこで今回は、東京都台東区にある本所都民防災教育センターにおいて、災害に対する知識や対応について研修を受けてきた。この施設には、台風、地震、火事等々に対する備えや対応などを実際に経験するコーナーがあり、講義とともに、時間の都合上3つのコーナーを体験した。

まず、火災に遭遇した場合の煙体験コーナーでは、入口から出口まで安全に早く脱出できるかということである。煙が充满した部屋を進むのは容易ではない。

より安全な脱出方法としては、煙を吸い込まないように口を濡らしたハンカチ等で覆い、出口方向を目指して、身体を低くし、壁伝いに移動することが良いとのことであった。また、建物によっては非常口のランプが設置してあるので、それを目印にすることも早く移動する手助けになるとのことである。

次に、地震体験コーナーでは、震度7程度の揺れを体験した。私は、1995年に発生した阪神淡路大震災の際、大阪府の堺市で震度4の揺れを経験し、2016年地元熊本県で発生した熊本地震も経験したので、揺れに対する怖さは感じなかつたが、動こうにも動けなかつた。

このような場合、揺れと同時に回りを見回し、頑丈なテーブルの下へ身を隠して揺れが収まるのを待つことが大切とのことである。立っての移動は難しいので、四つ這い等で移動したがよい。

最後に、消化体験コーナーで火災発生時の初期消火を体験した。大型スクリーンに映し出された火災を、水を入れた消火器でいかに早く消すかということであるが、なかなか難しかつた。講師の話では、物が燃えて炎があるので、炎の先端に水をかけても炎はきえない。つまり、炎の出どころである根元にかけると炎が消え、鎮火に向かうということである。成程と納得した。

このように経験を積むことにより、事に当たる時慌てず、冷静に対応が出き、事を収めることができることが出来るということである。貴重な体験であった。

# 自由民主党 磯・絆・和 視察所見

議員名【古嶋津義】

◆視察日：令和元年11月6日（水）

◆視察先：東京都台東区

◆調査項目：台東デザイナーズビルについて

台東デザイナーズビルは、ファッション関連分野での起業を目指すクリエイターを支援する施設として、旧小島小学校の校舎を改修して設立。クリエイターのための創業支援施設として、創業やビジネス成長を目指すクリエイターやデザイナーを効果的に成長させる環境を提供し、クリエイターや事業経験者へと成長、自立するために活用されている。又、プラット成長させるためのアドバイス（元カネボウ化粧品出身、業界では有名人）や助成金（台東区）などの相談に応じる体制が整っている。各種セミナーや産地見学会なども実施され、地元業界と連携したイベント「モノマチ」なども開催されている。設立の背景としては、台東区は古くから日本有数のファッションサッカの産地として、シューズ、バッグ、財布、帽子、ジュエリー、アクセサリーなどの資材屋やメーカー等のファッション関連企業や職人が集まっており、ものづくりには最適なエリアである。開設以来、入居者及び施設がTV、雑誌、業界紙等で度々紹介されており、台東区の産業施策のイメージアップ、PRに大きく貢献している。

自由民主党 碇・和 視察所見

議員名 [ 古嶋津義 ]

◆視察日：令和元年11月7日(木)

◆視察先：東京都中野区千代田区霞ケ内（国土交通省）

◆調査項目：~~妊娠・出産・子育てトータルケア事業について~~ 政府要望 (10:00~12:00)

中村市長、金子代議士と国土交通省港湾局へ、

(高田局長、清水計画企画官、中村計画課長、

谷口港湾経済課長、杉中海岸・防災課長、)

国土交通省都市局へ(北村局長、増田総務課長、

本田街路交通施設課長)等に政府要望。

自由民主党 硙・絆 視察所見

議員名【古嶋津義】

◆視察日：令和元年11月7日（木）

◆視察先：東京都荒川区

◆調査項目：プログラミング教育について

荒川区においては、タブレットPCや電子黒板等のICT機器の活用をとおして、児童生徒に「21世紀型能力を身に付けさせる」ことを目標として、平成25年度より開始される。授業では子供たちに、コンピュータに専用した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力として「プログラミング的思考」などを育成するもので、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることを学ぶ。授業の効果としては、タブレットPCを活用した実践では、個人学習で学びを深めたり、自分のペースでの反復学習など、実技教科動画で撮影してフォームの確認などに活用されている。生徒の評価としては、コンピュータを使って学習する意欲は高い。ただうまくいかなかった時に原因を見つけ、手順立てで考えることや、試行錯誤したり課題を分析したりして、解決しようとすることが苦手である。課題としては、専門的な講師（外部招聘）やプログラミング業者（株）内田洋行との協調。又全教職員が指導でるように、実技研修へ充実は3/4とかあけられる。

自由民主党 環・絆・和 視察所見

議員名【 古嶋津義】

◆視察日：令和元年11月8日（金）

◆視察先：本所都民防災教育センター

◆調査項目：防災体験（消火・応急手当コース）

〔地震・煙・消火・応急手当等の防災講習、体験学習〕

「地震」地震コナは、東日本大震災や長周期地震動など、5種類の地震を体験することができます。地震が起きたときは、何よりも自分の命を守ることと、そしてけがをしないことが大切（自助）。

本物そっくりの地震を体験し、地震の恐ろしさを知り（シエクアット訓練）。いざという時の行動力を身につけることができた。

「煙」煙の充満した迷路の中で避難行動を体験し、避難する時の冷静な判断力や行動力を身につけるコナで、煙の性質（床より上で煙は充満、低い姿勢で避難）を学び、煙から避難する時の要領が体感できた。

「消火」初期消火技術を体得するコナで、スクリーンに写し出される炎に向かって消火器を噴射。正しい消火器の使い方が体得できた。（消火器は消す対象が異なる。A火災（紙や木など）B火災（ガソリン、油）C火災（電気設備）。一般的には、どのタイプにも適応できるABC4/4加圧式粉末消火器が普及している。）

「応急手当」訓練用の人形を使って、いざという時のための応急手当の方法を体験するコーナー、心肺蘇生の方法（胸骨圧迫）やAEDの使い方を学ぶ。

本議員も防災士として、防災・減災に関する知識・技術のスキルアップを図ることでいた。

会派 自由民主党 紋 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

◆視 察 日：令和元年11月6日（水）

◆視 察 先：東京都台東区

◆調査項目：台東デザイナーズビレッジについて

台東区デザイナーズビレッジは、ファッションやデザイン関連分野の起業を目指すデザイナークリエイターを支援する拠点として、平成16年4月に、歴史的建造物である旧小島小学校の校舎をリノベーション（約1億8千万円）して設立された。デザイン分野に特化した廃校活用事例は、全国で唯一無二の存在で注目を浴びている。

入居条件に関しては、応募が殺到することから、「書類選考→1次面接→2次面接」を通して厳選されている。

支援内容として、①ハード（施設）として、事務所（19室）は低額で使用可能。他にも、制作室の無料提供、ファッション関連誌などが揃っている図書室、展示可能なショールームなど「創作・制作活動」に最適な環境を提供している。②ソフト（支援・指導）として、インキュベーションマネージャー（通称：村長）による「マーケティングアドバイス」や「商品企画や自立に向けた支援」の相談体制。③入居者デザイナー同士、地元産業界、マスコミ、流通等との「ネットワークの構築」を活用したビジネスの展開等の支援を行っている。

成果としては、数多くのデザイナーがブランドを立ち上げ、全国に出店している。成功の秘訣はデザイナー自身の才能もあるが、業界に力を持つ「村長」の存在は重要な鍵を握っている。本市にも廃校はあるが、都心部にある廃校とは全く考え方方が異なると思った。

会派 自由民主党 紋 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

- ◆視 察 日：令和元年11月7日（水）
- ◆視 察 先：東京都荒川区（第二日暮里小学校）
- ◆調査項目：プログラミング教育について

荒川区では、これまで電子黒板を全普通教室に導入し、全校全教室を結ぶ教育ネットワークによる教材の共有やデジタル教科書のネットワーク配信をはじめ、教育の情報化について、全国でも最先端の取り組みを推進している。

これらの取組成果を踏まえ、児童生徒の理解力に応じた個別学習をより効果的に行い、基礎的基本的な学力を定着させるとともに、ＩＣＴ機器を活用した学習指導を推進し、情報活用能力及び思考力や問題解決能力、コミュニケーション能力などの「21世紀型能力」を身に付けさせるためタブレットＰＣの導入を開始している。

導入の経緯としては、平成25年度に設計（5月）→構築（6月）→教員研修（7月）を経て4校（小学校3校・中学校1校）をモデル校に選定、タブレットＰＣを1,200台（契約期間72ヶ月・金額3億8,693万円）導入している。平成26年度は、モデル校の成果を踏まえ、全校（小学校21校・中学校9校）に9,131台（契約期間64ヶ月・金額27億1,934万円）を導入し、全国的に早い段階で活用時「一人一台体制」を確立した。また、タブレットＰＣを「効果的かつ効率的」に活用するため、（1）タブレットＰＣ活用における基本的な方針（2）授業での効果的な活用（3）情報活用能力の育成（情報モラル教育の充実）（4）グローバル人材の育成の方

方針（5）教員研修の実施。を掲げた「荒川区タブレットPC活用方針」を制定し、活用方針を定めている。

成果としては、従来の授業とICT機器を活用した授業を比較するとメリット・デメリットは様々である。ICT機器活用の授業展開としては、先生に指名された生徒だけが黒板に向かい書いたり発表したりする時間は、生徒の手元にあるタブレット端末で書いたものが電子黒板に反映される為、時間配分に余裕が生まれる。また、全生徒の答えを一斉に確認できる為、教育格差も是正できるなど、学力向上やコミュニケーション能力の向上に確実な成果を上げている。一方では、授業中のICT機器や通信網の不具合などに対応するケースもある。

先進的な活用方法として、児童自らの犯罪被害防止能力を高めるために、児童と教職員等が、警察署員とともに学校周辺において犯罪や事故等が起こりそうな場所を確認し合い、危険箇所をタブレットPCで撮影。このデータを活用して「デジタル安全安心マップ」を授業の一環として完成させている。また、働く人々を学習するために、地域の商店街に向かい、働く様子やインタビュー風景など写真にとり、学習発表など材料として活用している。

本市としても、視察先のように、タブレットPCを活用することで「未来を見据えた教育」はもとより、行政や地域の課題などに対しても「斬新な取組」で多くの問題を解決に導ける。案として、妙見祭の詳しい情報や傘鉾の組立を立体的に習得できる教材（アプリ）を作成して授業の一環として活用。妙見祭の課題である「参加者の減少・担い手不足」に対する解決策に繋がるよう思う。

会派 自由民主党 絆 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

◆視 察 日：令和元年11月8日（金）

◆視 察 先：東京都墨田区

◆調査項目：本所都民防災教育センターについて

東京消防庁では、都民防災教育センターとして、「池袋・本所（墨田区）・立川」の3地域に、防災に対する多種多様な体験が可能な施設を設立している。今回は、墨田区にある本所防災館にて、「地震体験・煙体験・応急手当体験・消火体験」などを含む「消火・応急手当コース」をインストラクター同行で受講する。

地震体験コーナー



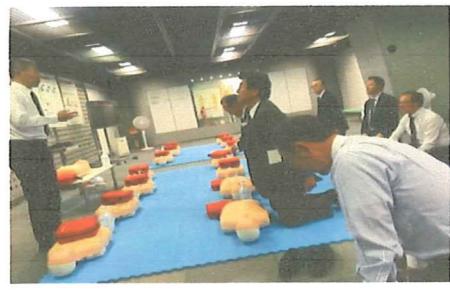
煙体験コーナー



消火体験コーナー



応急手当体験コーナー



東京都では、直近未来に起こる可能性が高い、東京直下型地震を想定した防災意識の向上に懸命であった。本市においても、熊本大地震の経験を活かし、地域コミュニティによる防災意識の向上を進めている。緊急災害時における対策の強化を進める必要があると思った。

令和2年1月22日

自由民主党 紋

代表 増田 一喜 様

八代市議会自由民主党 紋

管外行政視察復命書

〇 視察期日 令和2年1月15日(水)～1月17日(金)

〇 視察先 : けいはんなプラザ(京都府)  
池田市役所(池田市)  
八尾市役所(八尾市)

〇 参加者 議員 増田 一喜



〇 議員 上村 哲三



〇 議員 百田 隆



〇 議員 金子 昌平



○  
1月15日（水）pm14：00

京都府「けいはんなプラザ」：スマートけいはんなプロジェクトについて



○  
1月16日（木）am10：00

大阪府池田市：英語教育推進事業について



○  
1月17日（金） am9：00

大阪府八尾市：議会広報「高校生プロジェクト」について



※詳細は各議員の視察所見にて

## 会派視察議員所見

委員名【 増田 一喜 】

- ◆ 受講日：令和2年1月15日（水）
- ◆ 研修先：京都府（けいはんなプラザ）
- ◆ 研修内容：スマートけいはんなプロジェクトについて

このスマートけいはんなプロジェクト事業は、2019年から国土交通省（都市局都市計画課）が取組むスマートシティモデル事業の一つであり、全国で15ヶ所選定された中の一つである。

スマートシティモデル事業とは、新技術や官民データーを活用して都市や地域課題の解決を図る事業で、5ヶ年（2019年～2023年）での実装を実施するものである。

この事業主体は京都府で、民間事業者等の代表である西日本電信電話株式会社と連携して取組んでいる。

京都府は、文化、学術、研究の中心都市として企業立地等が進むが、敷地規模が大きいことから相互の円滑な移動に障害があり、企業間の交流活動等に影響している。また、都市建設後30年余が経過し、高齢化する地域社会への対応が課題であり、多様な移動手段を導入しシームレスな移動環境を整備するとともに、新たな産業の創出、創発、多文化・多世代の共生コミュニティなど世界に先駆け、科学技術と生活・文化が融合した未来の暮らしのモデルの構築を図ることを目的に、このスマートけいはんなプロジェクトを計画して、鋭意取組んでいるとのことである。

事業内容の一つとして、新技術・データーを活用した都市・地域の課題解決の取組み。

### 1 施設間の多様な移動手段の確保

- 街区間を移動するグリーンスローモビリティを導入し、ラストワンマイルの交通を確保。デマンドでの呼び出し等により利便性の向上、効率化（ラストワンマイルオンデマンドモビリティの導入）を図る。
- カーシェア、シェアサイクル等の整備を行う。

### 2 高齢者の生活支援

- AI デバイス（マイク、スピーカー）を高齢者住宅に整備し、日常の話し相手、健康相談、薬の服用や食事管理を支援。
- 音声によりラストワンマイルモビリティの手配を実施する。

### 3 統合プラットフォームの整備

- 既存の京都ビックデータープラットフォームとの接続やオープンデーター、交通事業者等からの取得データー等により統合プラットフォームを構築する。

### 4 コワーキング環境の整備

- 京都駅と精華・西木津地区間の中距離直通バスの車内にてコワーキング環境の整備を行う。
- 企業からの認証を受けて「移動中の業務＝勤務」とし、働き方改革の取組を推

進する。

- 通勤者、出張者等の移動をマイカーから交通機関に転換する。  
などである。

平成30年3月から、交通手段としてバス2台を繋いだ連節バスを運行しているが、道路幅の広いところが少なく、運行距離があまり延びないし、車両価格も1台2億円もするとのことである。また、令和元年からグリーンスローモビリティの導入予定だが、NTT西日本がやるので、有料となると奈良交通との連携が必要となるが、なかなか難しいようである。

このように、実証実験の予算がどれだけ確保できるのか、また、企業同士の横連携がどれだけスムーズにいけるのか、なかなか難しい問題点や課題があるとのことである。

## 会派視察議員所見

委員名【 増田 一喜 】

- ◆ 受 講 日：令和2年1月16日（木）
- ◆ 研 修 先：池田市
- ◆ 研 修 内 容：英語教育推進事業について

池田市は、平成24年4月に策定した「池田市教育ビジョン」に基づき、“学びつづけ、ともに生きる、池田の子ども”の育成をめざし、つながりのある教育の創造に努めているとのことである。

平成31年度（令和元年度）の主な取り組みとして、小中一貫教育の推進を行っている。小中一貫教育は、平成20年度から研究をスタートし、平成23年度に全ての中学校区で小中一貫教育の研究委託を行った後、平成26年度から小中一貫教育を本格的に実施した。また、平成27年度に施設一体型小中一貫校として「ほそごう学園」を開校させ、平成30年度には、義務教育学校として池田市の小中一貫教育のリーディング校として新たなスタートを切った。

そして、社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育むことをめざして、「ICTを活用した確かな学び」「子どもたちの情報活用能力の育成」校務の効率化による教育の質の向上」を基本方針として、教育の情報化を推進している。

池田市は、平成21年度に、市内小中学校の一部に電子黒板を導入し、その後、段階的に整備を進め、平成29年度には全小中学校・義務教育学校の普通教室に整備が完了した。

また、池田市は市内にある企業への就労の関係で、在日外国人の児童・生徒が急増しており、その対応に追われ、子どもへの日本語指導や学校現場の受け入れ態勢のサポートなどに実績のあるNPOに業務を委託している。

令和2年度からの新学習指導要領では、小学校5、6年生で年間70時間の検定教科書用いた教科としての「英語」、小学校3、4年生では年間35時間の「外国語活動」を実施することが決まっている。

池田市は、平成16年度「教育のまち池田」の特区認定、さらには平成20年度の「教育課程特例校」の指定を受けて現在に至るまで、全ての学年で外国語（英語）活動を実施している。小学校1、2年生でも年間15時間の英語活動を実施している。このように小学校低学年から英語に親しむ環境づくりに努めている。

令和2年度からの小学校5、6年生の英語の教科化を見据えて、平成30年度、5学園の各小学校1校に「英語専科教員」を配置（5人）し、平成31年度（令和元年度）には、全10小学校に配置した。

そして、本年度は、8人のALTを2幼稚園、9小学校、4中学校、1義務教育学校に配置し、一人が週当たり、複数校を担当している。

そのほかに、「教育日本一のまち」をめざして、次のような取り組みを行っている。

その一つが、外部英語検定「GTEC」の導入である。小学校6年生～中学2年生の全ての児童生徒に、(株)ベネッセが提供する外部英語検定「GTEC」を受験させて、その結果から課題を明らかにし、それを克服・改善するために、教員の授業改善や指導方法の改善に役立てている。GTECの結果から、池田市の中学生は約64%（3人に2人）の生徒が英検3級程度を有していることが読み取れるとのことである。

また、GTECの結果からも「話すことについて課題があることが分かり、英語を使った即興でのやりとりの力を育成することを目的に、中学校でオンライン英会話トレーニングを実施している。これは、(株)ベネッセが提供するものであり、フィリピンの外国人講師と1対1で25分間、英語でのやり取りをするものである。このように様々な方法を用いて英語教育の推進を行っているとのことである。

## 会派視察議員所見

委員名【増田一喜】

- ◆受講日：令和2年1月17日（金）
- ◆研修先：八尾市
- ◆研修内容：議会広報（高校生プロジェクト）について

八尾市議会において現在、議会運営委員会および総務・建設産業・文教・保健福祉・予算決算の5つの常任委員会を設置している。

平成23年5月以降、議会改革の一環として、常任委員会と特別委員会のそれぞれの役割を再認識し、委員会制度改革の柱として、常任委員会の所管事務調査を一斉に開始した。

本市において決算審査については現在、特別委員会を設置せず、内容により各所管の委員会にて審査しているが、予算については現在でも、常任委員会も特別委員会も設置されない。やはり、予算は適正に立てられているか、その予算が適切に執行されたかについては、専門性を發揮して審査する必要から、予算・決算特別委員会を設置したが良いと考える。

八尾市では、議会改革の検討について各派代表者会議で各会派から提案された「議会運営に関する課題」や議長から「議長私案としての課題」が提案され協議していることであるが、各派代表者会議の決定方法は全会派一致を原則としているため、決定後は速やかに実施できるというメリットはあるものの、その反面、決定までに時間を要し、一会派でも反対ならば、改革は実現しないというデメリットがある。これは、本市と同様の方法である。

八尾市における議会改革の取り組みとして、平成28年7月実施の参議院選挙から選挙年齢が18歳以上に引き下げられた（平成27年6月19日公布、平成28年6月19日施行・適用された）ことから、新たに有権者となる生徒・学生に、選挙制度を通してどのように市議会や市政に参画するのかについて考え、行動してもらう契機とすることを目的に、“選挙制度への理解を深める”と“議会制民主主義への理解を深める”の二部構成で「やお未来議会」を企画、実施した。

一部は、大阪府選挙管理委員会事務局職員から「選挙を知る授業」が行われた後、模擬市議会議員選挙を実施した。二部は、市内の4高等学校から八尾市の課題や未来に望むことが発表され、議員がコメント等を行った。（この事業は、新聞等のマスコミに取り上げられるとともに、地方議員等の優れた取り組みを表彰する「第11回マニフェスト大賞」の優秀賞候補にもノミネートされた。）

その後、高校生とコラボした様々な取り組みを行っている（高校生プロジェクト）。内容として、市議会便りの表紙・題字を高校生から募集し、美術部や書道部などの作品や活動写真を表紙として採用している。また、高校生に議会や議員に対するアンケートを行い、疑問に対して議員が回答する特集記事を市議会便りに掲載している。さらには、

レイアウト等に関しても高校生からの意見をさんこうにして、できるだけ文字数を減らし、画像やイラストを活用して見やすいものにしている。

そして、これらの内容が評価され、「第13回マニフェスト大賞シティズンシップ推進賞優秀賞」候補にノミネートされた。

八尾市市議会において、いかに議員の方々が真摯に議会改革に取り組んでおられるのかがよく分かる。

本市においては、議会改革というものの議員間の主義主張の違いでなかなか難しく思われる。しかしながら、我々議員が鋭意努力して開かれた議会を実現していかなければならぬのである。決意新たに努力したいと思う。

## 会派視察議員所見

議員名【上林哲三】

- ◆受講日：令和元年1月15日（水）
- ◆研修先：京都府（けいはんなプラザ）
- ◆研修内容：スマートけいはんなプロジェクトについて

### [事業概要]

①国土交通省、スマートけいはんなモデル事業（先行モデルPJ公募15/77の1→）  
②京都府は西日本電信電話（株）と共同で取り組む。

### [目標]

①エネルギーをはじめとして「個別分離特徴化型」の取り組みから、官民連携、ICT AIを活用し、交通、防災、健康、医療、エネルギー・環境等、複数分野にわたる「全局横断型」の取り組みへ。  
モニル事業、取り組みを加速し、順序的に全国の都市に標準装備として展開する事を目指す。

### [けいはんな学研都市]

①立法措置：1987年  
②研究面積：1,600ha（文化研究面積 860ha）  
③計画人口：41万人  
④開発方法：差分法（既存街並みの変更）  
⑤開発方法：ラスター型開発（分散型：さくどうの房）方式  
⑥位置：大阪、京都都心（20~30km圏）  
⑦開発主体：国、府県、公園（UR）、民間  
⑧行政区域（市町村）

### [2019現況]

都市の構成～人口：都市合計2,118,25万人、研究施設：148施設（300社以上）

### [研究区域の課題]

①研究機関、企業、住民の主流、更に若者や高齢者等、移動をサポートする都市モビリティの向上  
②高齢化する地域社会等への対応、③SDGs達成による持続可能な都市づくり  
④安心・安全な都市の形成

### [所見]

安心・安全で持続可能な近未来の理想的都市づくりの為の様々な議論が抽出され、解決の為のPJがあり、時間と大きな予算を必要とする（単自治体や民間企の取組みより、今後の事業展開は莫大しく、国の援助はかけられない）。

又、全国2の農業とすると、各々の地域の地勢、特徴から、各課題も多岐に渡り、一括の型には集約するには難しかしい様にも思えた。今後の動向を注目したい。

# 会派視察議員所見

議員名【工藤哲三】

◆受講日：令和元年1月16日（木）

◆研修先：池田市

◆研修内容：英語教育推進事業について

## 〔経緯〕

平成28年度から「教育日本一」という目標をかかげます。

## 〔教育の方向性〕

- ①小中一貫教育の推進（学区併用と呼ぶ手立て）
- ②幼少教育の充実
- ③ICT教育の充実
- ④在日外国人児童生徒への支援の充実
- ⑤英語教育の充実

(1)「教育課程特別校則度」を流用した小学校5年までの英語教育(H.16年度～)

(2)英語専科教員の配置(H.30年度～)

(3)教員の海外研修(置き配置(H.16年度～)

(4)外国人英語教師(ALT)配置(S.63年度～)

(5)教育日本一のまち地図・英語教育推進の取り組み

・外部英語検定「GTEC」の導入(H.29年度～)

・オンライン英会話トレーニング(H.29年度～)

・小学校での英語体験の取り組み

A. ひばりにティックリッシュ、B. ハーリッシュチャレンジ

C. カラフルマジックリッシュなど「参加型」による学習

(6)その他英語教育への取り組み

①はな下芝塾 ②幼・小・中学校派遣専門、③地域活性化スクール開催

等

## 〔所見〕

池田市の英語教育では、「読み」「書く」「読む」「聞く」の4技能のバランスの良い育成を求めており、外部英語検定は、JETプログラム「GTEC」(株)ベネッセを受験させ、英検3級以上に匹敵する得意は全種のうちにも達成率95%、目標とみなして達成率に重きを置かれております。

本市に於ても、ICT活用も加え、専門下英語教育に取り組んでおり、様々な取り組みがなされていることは認めた。

## 会派視察議員所見

議員名【 有岡 隆 】

- ◆受講日：令和元年1月15日（水）
- ◆研修先：京都府（けいはんなプラザ）
- ◆研修内容：スマートけいはんなプロジェクトについて

京都府、大阪、奈良の3県市町にまたがる東西文化学府研究都市として、国家プロジェクトとして、研究者、官民の協力と連携、ITシステム開発、文化等研究施設、住民の複合開発とからめられており、このエリアの人口は約98万人増加中。

都市の問題はスマート化を構築し、IoTを用いた地域の課題解決。

(1) 市政運営の向上、... 新規事業の創出創造、公共交通の充実と利便性

(2) 高齢化社会や社会の活性化、... 人材としてのサポート。

(3) SDGsを踏まえた持続可能な都市づくり、...

公共交通機関の利用促進、EVの導入等によるCO<sub>2</sub>削減、水素のエネルギー供給、

SDGsは2015年国連において持続可能な開発目標。

このようにスマート開発を通じて人口増加に伴う課題を解決する。

新規技術と創造的都市を目指す。

企業、自治体、団体が連携し、持続可能な都市を構築し、国内外に

支援活動、事業、PR活動等に参加する機会を多くのひび野拠点

参立。

## 会派視察議員所見

議員名 [ 池田 健 ]

◆受講日：令和元年1月16日（木）

◆研修先：池田市

◆研修内容：英語教育推進事業について

池田市は教育日本一を目指し、中でも英語教育に力を入れています。

その背景には、企業立地、外国人常住者が市内に居住していることなど

の一因となる。市長の肝入りで、英語教育の必要性が予算5000万円を

計上し、今年度は約2億2千万円となりました。

今ある施策の取組みの主なものを

(1) 小中一貫教育の推進(子供たちの国際的視野)

② 幼児教育の充実

③ ICT教育の充実(電子黒板を全小中学校へ設置、タブレット整備)

④ 在住外国人留学生への支援充実

⑤ 英語教育の充実

中でも、英語教育の充実、実力向上のため、ETECの導入、オンライン英会話

レーンケ等の導入は非常に思う。又教師に対する

海外派遣研修を実施し、国際観念を磨き、英語教育の推進に

つなげている。ALTは8カ国語圏100人。授業を行っています。

この結果、池田市の小中学校の英語力は全国平均より2022年まで

3倍近く、多言語学習計画の一環として2022年の目標を達成する。

## 会派視察議員所見

議員名【 佐川 雄 】

◆受講日：令和元年1月17日（金）

◆研修先：八尾市

◆研修内容：議会広報（高校生プロジェクト）について

八尾市では高校生が議会による委員会活動に参加して取組みを行なっている。

该制度は政治団体は政治に参加するこの第一歩とされている

ところである。

甲乙の、高校生とのコラボで議会による議会化、題字と高校生の

部活や団体活動等を議会化して採用されたものであります。2020年は

伝統と継続づけながら伝わる議会に初めてなれました。

まず甲の、市議会の運営が議会化されており、一言でいって

想い出工場のひかるのようないき生生の新しい議事録が議会で

成り立つたと思います。政治活性化をめざし改善提案のではつながる

ところ。

又、議会での議論会における採用しているところであるが、平成12月12日

確立する所とされる

会派 自由民主党 紋 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

- ◆ 視 察 日：令和2年1月15日（水）
- ◆ 視 察 先：京都府（けいはんなプラザ）
- ◆ 調査項目：スマートけいはんなプロジェクトについて

けいはんな学研都市の建設は、1987年の「関西学術研究都市調査懇談会（座長：奥田東 元京都大学総長）」の提言から始まり、1983年に京都、大阪、奈良の3府県、関西経済団体などによって設立された「関西文化学術研究都市建設推進協議会」のもと、構想が具体化され、1987年の関西文化学術研究都市建設促進法の公布・施行を経て、国家プロジェクトとして本格的に都市計画がスタートした。都市建設から30年が経過した現在の課題は、（1）文化、学術、研究の中心都市として企業立地等が進むが、敷地規模が大きいことから相互の円滑な移動の障害があり、企業間の交流活動等に影響が生じている。（2）深刻な問題として高齢化する地域社会への対応である。この課題解決策として、多様な移動手段を導入しシームレス（途切れの無い）な移動環境を整備するとともに、「新たな産業の創出・創発」や「多文化・多世代の共生コミュニティー」など世界に先駆け、「科学技術と生活・文化が融合した未来の暮らしの実現」に向けた取り組みを進めている。現在、「スマートけいはんなプロジェクト」を立ち上げ、国土交通省が2019年度から推進している「スマートシティ事業」に選定されている。事業の具体的な内容は、ICTを活用した次世代の連結バス、カーシェアリングシステムなど、モビリティを高める新たな交通システム等の展開、自動運転の実証実

験などである。このモデル事業は5年で実装する計画であった。

スマートシティ構想の捉え方について施設内を見学しながら担当者に伺うと、従来のコンパクトシティーの概念とは異なる。ブドウの房のように、主要地域と連携させる幹線道路に大型バスを配置し、各地域内においては、モビリティを配置させ全体的に自動移動が可能となるようを目指す「クラスター型開発」である。また、ゼロベースからの導入は比較的に簡単だが途中からの導入は厳しい場合もある。など熱意を持って話される。

本市においても、未来を見据えた総合的なビジョンは重要である。例えば、本市の高齢化率が高い地域には有力な観光資源がある。新庁舎を核として各地域を直通で往来できる交通網の整備は、生活と観光の両面から課題解決に繋がる。さらに、自動運転車の導入が可能であれば、未来は自動的に流通を起こせるようになるため、安全性・利便性が図られる。本市独自のスマートシティが考えられる。

会派 自由民主党 紋 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

- ◆視 察 日：令和2年1月16日（木）
- ◆視 察 先：池田市（池田市役所）
- ◆調査項目：英語教育推進事業について

池田市教育委員会では、直近未来の予測困難な時代を「生き抜く力を育む」ため、平成28年度から、「教育日本一」の目標を掲げ、「英語教育」、「幼児教育」、「ICT教育」を柱として、多様で新しい教育事業に取り組んでいる。英語教育においては、グローバル化社会に必要なコミュニケーション能力を育成するため、「オンライン英会話（OST）」・「イングリッシュキャンプ」・「最新の英語検定（GTEC）を導入」等、充実した英語教育を展開している。特に「オンライン英会話」は最先端であり、中学1～3年生を対象に、インターネットを介して、外国にいる英語講師と1対1で30分間、会話をする実践的な教育内容である。利点として、生徒個人の発話量の増加、ALTの確保が困難な地方の対応、全国レベルと地域間の教育是正が見込まれる。問題は、教材が少ないとのことだが、平成29年末、全国10市町村で約50校が実施中、現在、これらのサービスを展開する会社へ全国の自治体から問い合わせが増加していると報道されている。

本市においては、財源難を踏まえると独自の発想が必要である。例えば、伝承館を教育施設として活用するならば、妙見祭の歴史や日本人の誇り高いマナーを外国人観光客に英語で伝えるガイド体験型学習は面白いと思う。日本人の「わび・さび」は、外国人が理解しても出来ないほど世界最高穂であり、伝えるべき日本伝統である。

会派 自由民主党 紋 行政視察所見

議員名 【 金子 昌平 】

- ◆視 察 日：令和2年1月17日（金）
- ◆視 察 先：八尾市（八尾市役所）
- ◆調査項目：議会広報(高校生プロジェクト)について

八尾市議会事務局では、平成27年度、18歳選挙権の開始に先立ち、新たに有権者となる大学生や高校生に、選挙制度や市議会の仕組みを知ってもらうため、平成28年2月、選挙管理委員会と共に開催して、18歳の選択「やお未来会議2016」と銘打つて、市議会議員選挙の体験や高校生からの発表、議員への質問の場を設けている。この全国初となる主権者教育が議会との交流を深める機運となり、平成29年度、もっと「若い世代に市議会に関心」を持ってもらえるよう、高校生の発案した作品の表紙や編集記事を掲載する「市議会×高校生プロジェクト」が始動する。更に平成30年度には、議会だより編集委員会と市内の高校生で今後の広報についての座談会も実施している。

市議会だよりの経緯については、市政だよりのイメージチェンジを皮切りに、自治振興委員会より、市からの配布物「市議会・市政だよりの大きさを合わせる」「配布物を削減すること」などの要望を受け、担当課との協議、検討の上、平成11年3月定例会より、市政だよりとの合冊となる。その後、編集委員会にて、「伝える」から「伝わる」わかりやすい誌面づくりを目指し、議会に対する興味・関心の「入口」と位置付け、議会の大切さを感じられるような意欲的な情報発信に努めるなどの、編集方針の協議結果を踏まえ、各派代表者会議にて、

市議会だよりのリニューアルを決定する。原稿等は事務局が作成するため、先ずは、専門家へ依頼をし、講演・指導・助言を頂き、新フォーマットを作成し、パソコン環境を整え、マイナーチェンジを繰り返す。初期経費は、合計 729,131 円。驚くのは、編集ソフト（184,000 円）がプロも利用する「Adobe」であった。写真編集には、photoshop。原稿編集には、Illustrator を活用。これらの習得には、フォーマットからの編集としても、知識・操作習得には、かなりの努力が必要である。

本市においても、若い世代が市議会に関心をもってもらう工夫は必要である。「市議だより」表紙の写真に関しては、高校生や社会人の写真部とのコラボは考えられると思う。また、教育の一貫として、子供たちに未来の八代を描いてもらい表紙にするなど、政治と連携した取り組みも関心を高める工夫の一つになると思う。また、現代のニーズに合わせたデザインこそが街の躍動感を生み出す、第一歩だと捉えた。